

宜基渉第17号
平成26年8月27日

沖縄防衛局長
井上一徳 殿

宜野湾市長 佐喜眞 淳

米軍AH-1Wヘリの部品紛失について（抗議・要請）

貴職におかれましては、本市における基地問題解決のため、平素より御理解と御協力をいただき、御礼申し上げます。

市街地のど真ん中にある普天間飛行場は、その危険性と騒音等の基地負担が大きいことから市は、一日も早い閉鎖・返還を強く求めています。SACO合意から18年、沖縄国際大学への米軍ヘリ墜落事故から10年が経過した現在も、市民は航空機事故等の危険性や基地負担を負い続けております。

その様な中、8月21日に訓練を終え普天間飛行場に帰還した米軍AH-1Wヘリの燃料キャップが紛失したと、貴局より連絡を受けました。航空機の部品紛失事故は市民に不安を与えるものであり、看過できません。

米軍機の安全管理体制の徹底についてはこれまでも機会あるごとに申し入れを行ってきており、AH-1については、昨年4月に同様な紛失事故が発生し、その際も事故原因の究明と、再発防止の徹底を申し入れたにもかかわらず、再度このような事故が発生したことは大変遺憾であり、米軍の安全管理体制や再発防止策の実効性に強い疑念を抱かざるを得ません。

市街地に囲まれた普天間飛行場では、航空機によるトラブルや事故は、直接人命や財産に関する重大な事故に繋がりがねないことを強く認識していただき、貴局より改めて事故の原因究明と再発防止策を図り、公表するよう米軍へ申し入れていただくようお願い申し上げます